

すべてはここから始まった

浜野 潔



大阪市西区京町堀にある願宗寺跡地(筆者撮影)。建物の裏側には、関西法律学校発祥の地の顕彰碑が建っている。下の写真は昭和十一年当時の願宗寺(毎日新聞社提供)



上の写真は大阪市内の、ある立体駐車場を写したものである。日曜日の昼下がりという時間のせいあたりは人通りもなく、静かなどこにでもある風景である。しかし、関西大学にとってこの場所はただの場所ではない。今を去ること百十九年前の明治十九年、この場所(西区京町堀)にあった願宗寺という寺で一つの新しい学校が開校した。その名前は関西法律学校―関西大学の前身であり、関西で初めてとなる本格的な法律学校の誕生であった。当時の教員はそのほとんどが現職の司法官(判事・検事)であり、裁判業務の合間に無報酬で学生を教えていた。この寺から歩いて五分ほどの場所、そのころ控訴院(現在の高等裁判所)があったので、講師の出講に便利だという点も、この場所を選んだ理由の一つに違いない。

生徒募集の広告が新聞紙上で発表されると、学校関係者の予想をはるかに超える四百人余の受験生が殺到した。作文・算術・漢文の三科目からなる入学試験を受け合格した者は百五十人。別に書類選考にて合格した八十人と追加試験の合格者五十人を加えた約二百八十人が第一期生になったという記録が残っている。

しかし、小さな寺にこれだけの学生を収容することは不可能だった。学校当局はすぐさま、新しい教室を大阪市内の別の場所に求め、わずか一月で学校は東区淡路町へ移転することになった。今風にいえば、受講生超過による教室変更という程度の簡単な引越だったようだ。その後、願宗寺のことを知る人も少しずつ少なくなり、やがて昭和二十年三月の大阪大空襲でこのあたりはすべて灰燼に帰してしまう。戦後は地番さえも変わってしまった。一時は建物のあった場所を特定することさえ難しくかったらしい。

ところで昭和四十九年、偶然にも戦災前の願宗寺を写した写真が発見された(写真左下)。この写真は北側にあった門のところに写したものであり、この奥に教室となる本堂があった。わずか一月とはいえず、大勢の先輩たちがこの門をくぐり登校していたというわけである。ちなみに、この駐車場の写真は、ほぼ同じ位置から現在の様子を撮ったものであるが、時の移り変わりの大きさを感ずることができよう。

さて、開校から三年目の明治二十二年、晴れの第一回卒業式が、二度目の移転先である北区の興正寺という寺で行われた。この時、筆答・口答からなる試験を突破して卒業することができたのはたった十七人。入学者に対する卒業生の比率は、わずか六割に過ぎなかった。関西大学の始まりは建物こそ貧しい寺の一角であったが、その中身は実に濃かった。卒業生の中で判事、検事、代言人(今日の弁士)の各試験に合格した者の数も多く、関西唯一の法律学校としてやがて名を成すことになった。来年本学は、その創立から実に百二十年目の年を迎えるのである。

(経済学部教授)

HEADLINE

- 2 面 2005年度入学試験志願者数
- 3 面 飛躍
- 4・5 面 特集 学部教育の近未来
- 6 面 特集 千里山&高槻 キャンパス
- 8 面 特集 グッズが彩る開大ライフ



企業との共同研究で、よく感じることがある。大学と学生に対する企業の期待である。企業人は関西大学の施設や空間、さらには自由な雰囲気を見て感じて、その爽快感から創造性を感じるようだ。大学はフレッシュな機能があるようだ。また、今時の学生はどうですか」と質問されるが、この言葉の意味は、「学生が何か新しい発想や息吹(力)を持っているのでは」ということのようにだ。開大キャンパスは人が多きが、車もなく自然豊かで考え事をしながら散歩するのに最適である。ふと考えると、普通「人が多し」と煩わしい気がするのだが、みんな笑顔で歩いていたり座っていたりする。製品設計で全ての人に優しい設計(設計: 10.13)ユニバーサルデザインが求められている。ところで、ユニバーサルデザインとは何かと問われたら、「人の笑顔」と本に書いてあったのを思い出した。でも、人の笑顔が多い場所、開大キャンパスもユニバーサルデザインと呼べるのかもしれない。散歩して考えてみよう。(中篇 道靖)

2005年度 関西大学 入学試験志願者数

＜一般入試(A・S日程)およびセンター利用入試(前期)＞

確定志願者数

学部	一般入試(A・S日程)試験地別志願者数																		センター 利用入試 (前期)	合計		
	大阪	札幌	仙台	東京	金沢	浜松	名古屋	滋賀	京都	和歌山	姫路	松江	岡山	広島	徳島	高松	松山	小倉			福岡	
法	4,041	17	5	160	104	80	339	33	488	235	277	18	192	240	45	138	63	64	151	6,690	1,365	8,055
文	4,322	10	5	109	111	44	255	43	435	300	256	30	182	195	51	145	65	37	117	6,712	2,140	8,852
経済	4,766	29	11	96	147	29	263	150	355	293	373	36	238	170	47	157	70	66	74	7,370	2,700	10,070
商	5,691	4	2	88	101	42	210	65	533	247	347	10	165	199	31	142	64	43	78	8,062	—	8,062
社会	5,610	14	10	144	121	70	352	76	680	261	320	28	197	231	40	170	60	75	116	8,575	2,697	11,272
総合 情報	2,725	3	1	58	55	43	161	45	348	159	178	7	83	121	22	72	32	28	43	4,184	691	4,875
工	5,637	12	6	109	273	142	884	55	739	292	623	68	320	426	48	192	124	125	235	10,310	3,100	13,410
合計	32,792	89	40	764	912	450	2,464	467	3,578	1,787	2,374	197	1,377	1,582	284	1,016	478	438	814	51,903	12,693	64,596

*上記は、一般入試(A・S日程)、センター利用入試(前期)の志願者数です。一般入試(後期B日程)およびセンター利用入試(中期・後期)の志願者数は含まれていません。

キャリアセンターのサポート体制

あなたのキャリアデザインをバックアップ!



本学では、就職活動を行う三、四年次生のみならず、一年次生の段階から学生一人ひとりのキャリアデザイン(将来設計)をバックアップするために、さまざまな学生サービスを提供している。

キャリア形成サポート
自分の将来の進路に対する意識を芽生えさせ、職業観を養い、生きる力を身につけるために、本学では次のような多彩なプログラムを実施している。

例・一年次生から参加できる「キャリアプランニングセミナー」を開催
・キャリア教育「科目を、一年次生を対象に正規科目として開講
・キャリアデザイン(進路支援)を設置し、専門のアドバイザーによる個別の進路・就職相談を実施
・「キャリアデザインブック」を入学時に配布

平成18年4月「実学の間大」に会計専門職大学院を開校

本学は、「学の実用化を理念とし、その追求から会計専門職大学院(アカウンティングスクール)を平成18年四月に開設する。

設置目的
この新大学院は、会計専門職の世界標準化の流れと国内で大幅な充実が求められる高度な会計専門職業人の養成、という内外の環境変化に対応して設置されるものである。

平成18年に開始される新公認会計士試験制度の下で多数の合格者を出し、会計士業界のみならず、企業スタッフの多くを輩出する。千早千早キャンパス

現在の構想
や官公庁などへ有為な人材を輩出することを目的として、

カリキュラム
第一に新公認会計士試験制度の試験科目に対応した基本科目の充実、第二に公認会計士としての即戦力を備える必要性に応えるため、事例や実践が豊富に盛り

就職実績
本学の平成16年三月卒業生の就職率は九五・一％と、全国屈指の実績を誇っている。平成17年三月卒業予定の学生も、一月現在約九割の内定を得ている。キャリア形成支援はもともと、就職活動の卒業生が活躍している。卒業生も、学内で多種多様なセミナー・企業研

卒業生の主な内定先
平成17年3月

サンエー、キティ、明治製菓、NEC、松下電器産業、シャープ、ソニー、積水ハウス、トヨタ自動車、本田技研工業、三菱重工、任天堂、九州電力、日本通運、日本航空

資格取得もバックアップ
教員試験対策講座をキャリアセンターで開講している。またエクステンション・リッドセンターでは、司法試験や公認会計士等の難関国家試験をはじめとして、公務員試験やTOEIC・TOEFL、簿記

受賞

平成十六年度電気設備学会全国大会
発表奨励賞
工学部電気工学専攻 M二 菅野 文
平成十六年九月十日発表
研究会より賞
M二 菅野 文
平成十六年九月十日発表
研究会より賞
M二 菅野 文

共通政策提案科会地方活性化プラン 優秀論文 発表奨励賞
総合情報学部情報学専攻 研究会より賞
M二 菅野 文
平成十六年九月十日発表
研究会より賞
M二 菅野 文

工学部電気工学専攻 M二 菅野 文
平成十六年九月十日発表
研究会より賞
M二 菅野 文

トビックス

大学トビックス
学内入試式の挙行方法変更
これまで入試式は各学部が別々に行われていたが、今年度は各学部が合同で行われる。新年度からは入試式は各学部が別々に行われ、その後は各学部が合同で行われる。新年度からは入試式は各学部が別々に行われ、その後は各学部が合同で行われる。

新年度からは入試式は各学部が別々に行われ、その後は各学部が合同で行われる。新年度からは入試式は各学部が別々に行われ、その後は各学部が合同で行われる。

工学部機械工学専攻 M一 井上 勇輝
工学部機械工学専攻 M一 井上 勇輝
工学部機械工学専攻 M一 井上 勇輝

工学部機械工学専攻 M一 井上 勇輝
工学部機械工学専攻 M一 井上 勇輝
工学部機械工学専攻 M一 井上 勇輝



速記部



映画研究部



英語研究部

速記部
 昨年十一月五日に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された第十八回全国日本大学速記競技大会において優勝し、二十四連覇の偉業を達成した。他大学の追従が厳しくなってきた昨今、団体戦では準優勝の早稲田大学に

映画研究部
 自主制作の映画を中心に映画上映会を数多く実施しており、また各種映画コンクールに積極的に出品し、

英語研究部 (第一部)
 「ディベート」・「ディスカッション」・「スピーチ」・「コミュニケーション」の四セクションに別れて日々活動を行っている。

今年度は北海道大学生映画祭においてグランプリを獲得するなどの活躍を見せ



アメリカンフットボール部 (写真提供: 関大スポーツ)

アメリカンフットボール部
 十周年を記念して「KAISERS」にニックネームを変更し、新たなスタートをきった。新生アメリカンフットボール部は昨年二位の実績を持つ京都大学に二

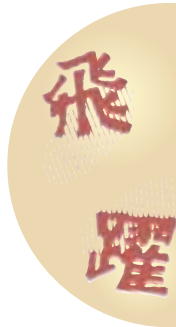
十八年ぶりに勝利するなど活躍を見せ、単独三位でリーグ戦を終了した。



高橋大輔さん

アイススケート部
 スーパーキ登場！
 フィギュアスケート二〇〇二年世界ジュニアチャンピオン(日本人初)の実績を持つ高橋大輔さん(文二)が、一月十五日、ユニ

バシアード冬季競技大会で見事金メダルを獲得した。高橋さんはアイスホッケー部の第五十三回開業アイスホッケー定期戦のオープニングセレモニーに特別出演するなど学内イベントにも積極的に参加(二〇〇六年トリノ冬季オリンピック大会出場をめざす)。



サッカー部 (写真提供: 関大スポーツ)



サッカー部
 第五十三回全日本大学サッカー選手権大会出場
 関西学生秋季リーグを二位の成績で終えたサッカー部が二年連続で全日本大学

サッカー選手権大会に出場した。惜しくも決勝リーグへの出場は逃したが、主力選手の前田雅文さん(社四)のリーグ・ガンバ大阪への入団や、吉村修平さん(文一)の新人賞獲得など、活躍が光った。

漕艇部
 五十六年ぶりの優勝
 今シーズン、桜林・大原シテイレカッタで優勝朝

そのまに見事秋季リーグ戦で一部優勝を果たした。京都大学に三回コールドゲームで勝利などの快進撃を続けたソフトボール部の一部優勝は十三年ぶりであった。

馬術部
 七周年関西制覇
 昨年七月に行われた第三十九回関西学生障害馬術大

会において、馬術部が並み居る強豪校を打ち破り、七周年ぶりに関西制覇を成し遂げた。馬術部は十一月末に高槻キャンパスに移転し、新しくなった施設のもと、さらなる躍進をめざす。

多様な奨学金で学生生活を支援します

本学では学生諸君の経済的負担を軽減し、充実したキャンパスライフを過ごしてもらうために多様な奨学金制度を設けています。奨学金には大きく分けて貸与奨学金と給付奨学金(返還不要の奨学金)の2種類があります。また、金額や期間などの条件も各奨学金ごとに異なります。奨学金の採否はおもに成績と家計状況により決定されますので、自分の計画に合った奨学金を検討してみてください。

特に「関西大学学部給付奨学金」は出願不要で、入試成績をもとに自動的に採用候補者が決定される奨学金です(在学生については前年度までの学業成績をもとにします)。本学で学ぶことを希望する意欲ある受験生のみならず、入学試験で存分に実力を発揮して、関西大学学部給付奨学金にチャレンジしてください。また、「関西大学入学時貸与奨学金」は合格発表後ただちに入学する必要がありますので、ご注意ください。

各奨学金の詳細については、入学金(入学登録金)の納入後に「奨学金案内」を送付しますので、参照してください。

種類	出願時期等	概要(期間)	金額(日本学生支援機構は平成16年度現行)
関西大学学部給付奨学金	入学試験成績優秀者(出願不要)	給付(1年間)	入学初期の授業料、教育充実費及び実験実習料の合計額(2年次生以上は、春学期の授業料の2分の1相当額)
フレックスコース給付奨学金	入学後に出願(勤労学生が対象)	給付(1年間)	(月額)24.3万円【学年により異なる】
スポーツ振興給付奨学金	入学後に出願	給付(1年間)	(月額)50万円
本学独自の奨学金基金給付奨学金(赤井・柳楽・久井・野田奨学金)	1年次終了時に出願	給付(最短修業年限)	(月額)24万円
財団給付奨学金	入学後に出願	給付(財団により異なる)	財団により異なる
関西大学入学時貸与奨学金	合格発表後直ちに入学	無利子貸与(入学時のみ)	入学時に必要な授業料、教育充実費及び実験実習料の初学期分相当額
関西大学奨学金	入学後に出願	無利子貸与(1学期間)	(1学期額)法・文・経済・商・社会学部 19万円 総合情報学部 26万円 工学部 29万円
日本学生支援機構第一種奨学金		無利子貸与(最短修業年限)	(月額)自宅5.3万円・自宅外6.3万円
日本学生支援機構第二種奨学金		有利子貸与(最短修業年限)	(月額)3万円・5万円・8万円・10万円から選択可能
各種地方自治体奨学金	入学後に出願(地方自治体により異なる)	給付・貸与(地方自治体により異なる)	地方自治体により異なる



学部教育の近未来

法学部

新時代を拓く

昨年 4 月に、司法制度改革の一環として法科大学院が設立され、法学部の教育は大きな転機を迎えた。その背景には、いうまでもなく、わが国の社会的構造的な変化がある。

これからの社会の担い手として、法学や政治学の専門的な知見に基づき自立的、創造的に行動しうる人材、公共の利益のために積極的に貢献しうる人材、国際的な舞台上で活躍しうる人材が求められるであろう。そのような人材の育成こそ、法学部に課せられた責務といえる。もちろん、法曹養成の新制度への対応も必要である。そして、大学院と連携した新たな専門教育のあり方も模索しなければならない。こうした見地から、法学部ではいち早く、一連の改革に取り組んできた。

まずカリキュラムを刷新し、法律学科に法曹コース、ビジネスコース、公務コースおよび国際コースを、政治学科に総合コースおよび公共政策コースを設け、各コースにつき履修すべき科目を再配置した。多様な進路志向に応じた段階的、系統的な履修を促すことが、その目的である。法科大学院への進学についても、早期に必要な準備をなすように配慮している。同時に、学問の発展動向や社会のニーズを考慮して開設科目を見直し、カリキュラムの現代化を図った。今日の社会の問題状況について、より深い認識が得られるはずである。また、昼夜開講制やセメスター制を取り入れ、柔軟かつ集中的な履修ができるシステムに変更した。そして、意欲のある成績優秀な学生に高度かつ発展的な勉学の機会を与えるため、4 年次に大学院法学研究科の科目の履修を認める制度を導入することにした。この制度により、同研究科に進学後 1 年で修士の学位を取得することも可能となる。

法学部の改革は、まだ途上にある。今後時代の変化を捉えながら、教育内容のいっそうの充実のために所要の措置を講じていく方針である。

(法学部長 大沼 邦博)

文学部

新生文学部の教育の特色

「大学で何を学ぶのか」文学部に入学した最初の 1 年間は、この問いへの答えを自分の力で見つけるためである。文学部には現在 10 の専修があり、専門的で特色豊かな授業を展開している。そのエッセンスをダイジェスト版で紹介するのが、専修ごとに提供される「学びの扉」という科目である。10 の扉の鍵はすべて 1 年生一人ひとりの手に託されており、関心のある扉を自由に開けて中の様子を自分の目で確かめることができる。たまたま開けた扉が、思いがけず面白く、将来の進路を決める出会いとなるかもしれない。視野を広げながら、どの専修に進むかをじっくりと決めてほしい。これが文学部の願いである。

「新たなテーマを求めて」2 年次からはより専門的な学びがスタートし、その集大成として卒業論文を作成する。来年度からは、既存の 10 専修の中で各自がテーマを選んで卒業論文を書くという

コースのほかに、3 年次から「テーマ・プロジェクト」に参加して卒業論文を書くというコースを選択することが可能となる。来年度は 6 つの「テーマ・プロジェクト」がスタートし、専門の担当教員による工夫を凝らしたプロジェクトが計画されている。また、再来年度には複数の新しい専修が加わる予定である。学生が自分の中にどれだけの可能性が秘められているかを試せるような、個性豊かで幅広い学びの場の創造をめざす。

「大学の外の世界とともに」学びの場はキャンパス内だけではなく、また、与えられる教育ばかりでは物足りず、文学部が特に力を注いでいる「学校インターンシップ」とは、小中高の学校現場で、大学生として就業体験を積むプログラムである。今年度は 300 人以上の在学生が研修生として各学校へ派遣された。来年度も研修を希望する学生たちをしっかりとサポートしていきたい。学校で児童や生徒に教えるが、逆に多くのことを教わった学生たちの成長が、文学部を活気づけているのである。

(文学部教学主任 奥村佳代子)

経済学部

進化する「知」の工房

経済学部では、平成 15(2003)年度からの昼夜開講制導入に伴って大幅にカリキュラムを改正した。最も大きな改革は、1 年次生が履修する授業科目の新設である。1 年次生の春学期には、まず 20 人程度のクラスに分かれて「経済学ワークショップ」を受講することになる。新聞や新書を読んで内容を要約して報告し、グループに分かれて討論するなどの作業を通して、情報収集・プレゼンテーション・レポート作成などの能力を高めることが授業の目的である。さらに、パソコンを使った文書作成・表計算・インターネット検索などのスキルを身につけるために、「情報リテラシー入門」が履修義務科目として設けられている。

経済学部の特色(スペシャリスト系とプロジェクト系)

<p>デイトタイムコース</p> <p>(1)ジェネラリスト系</p> <p>(2)スペシャリスト系</p> <p>コースを履修し、所定の単位を修得すれば「コース修了証書」を授与</p>	<p>理論経済、公共政策、国際経済、地域研究、環境経済、比較経済思想、金融システム、福祉・労働経済、産業経済、情報経済、ビジネス、経済史、以上 12 のコース</p>
<p>フレックスコース</p> <p>(3)プロジェクト系</p> <p>プロジェクトを履修し、所定の単位を修得すれば「プロジェクト修了証書」を授与</p>	<p>開発テーマ) 日本・関西・大阪(地域)、アジア(地域)、21 世紀の社会(保障・福祉・環境(スキルアップ)など。</p>

また 1 年次生の春学期には、高校の「公民」や「政治・経済」で習ったことを経済学につなげるための「経済学入門 1」、秋学期には、専門研究の面白さを伝えるために教員がリレー式で各自の専門領域についてミニ講義を行う「経済学入門 2」が開講される。同時に、経済学の基礎を学ぶための「初級ミクロ経済学」と「初級マクロ経済学」も始まるが、両科目には、通常の講義だけでなく、講義でわからなかったことを質問したり、練習問題を解いたりすることで講義の理解を深めるための「補習クラス」が設けられている。

2 年次生の秋学期からは「経済学演習(ゼミナール)」が始まる。従来は 3 年次生の春学期からであった履修を半年早く、募集人数も従来より縮小して 15 人程度とした。学生は、自分の関心に応じて志望したゼミで 2 年間テーマ研究を行い、4 年次生の秋学期には卒業論文を作成する。また特にデイトタイムの専門教育においては、理論経済、公共政策、国際経済など 12 のスペシャリスト系コースが設定されており、いずれかのコースを選択して所定の単位を修得すれば「コース修了証書」が授与される。このようにして、自ら問題を発見し、調査研究し、成果を発表できる人間を育てることが、経済学部の教育目標である。

(経済学部長代理 植村 邦彦)

商学部

ビジネスの多様なニーズに即応する充実したカリキュラム

平成 18(2006)年に創立 100 周年を迎える商学部では、商部・大阪にふさわしいビジネス教育を実践してきた伝統を踏まえて、新カリキュラムや昼夜開講制を導入し、各分野の「品格ある柔軟なビジネス・リーダー」の育成をめざしている。

3 年前からスタートし順調に軌道に乗ってきた新カリキュラムの特徴は、まず第 1 にセメスター制(2 学期制)を基礎にして既存の科目を大幅に見直し、現代の経済社会や企業経営に対応した「ベンチャー論」、「E ビジネス」、「データマイニング論」、「環境会計」など多くの講義科目を新しく開講したことである。第 2 の特徴は、従来から商学部で進めてきた少人数の演習教育をさらに充実させるために、3 年次と 4 年次に加えて 2 年次秋学期からの演習を新設し、定員も少人数にふさわしい 115 人を原則にしたことである。第 3 の特徴は、専門演習に所属しない学生に対して「副専攻」を新設したことであり、これによって学生は他学部の講義を卒業所要単位として多数受講でき、総合大学のメリットを享受している。具体的には「副専攻」の学生は「情報」、「都市経営と NPO」、「ベンチャー」、「グローバル化」の各テーマについて広く、弾力的に学習している。

また一昨年からスタートした「昼夜開講制」では、1 時限目から 7 時限目までの広範な授業時間帯(9:00~21:10)をフルに活用し、「デイトタイムコース」と「フレックスコース」を設置し、学生が履修する科目選択の自由度を大幅に高めることを可能にしている。とくに「フレックスコース」を中心に新設した APP(アカウントティング・プロフェッショナルズ・プログラム)は、公認会計士をめざす学生を対象として会計学の体系的な学習と受験対策の両立を可能にする少人数の演習科目を中心とした科目群であり、公認

会計士の受験指導経験が豊富な講師によって講義されている。(商学部長代理 水野 一郎)

社会学部

社会の変化に応じた実践知の養成

社会学部では、1~4 年次のすべてに少人数クラス(ゼミ)を設け、個々の学生がよりきめ細かな指導を受けられるシステムを導入してすでに 10 年以上になる。認定心理士や社会調査士などの各種資格を取得できる制度も充実し、今年度は産業社会学専攻が表いに新たに社会システムデザイン専攻に生まれ変わるなど、社会と時代の変化に応じたカリキュラム改革を積極的に進めている。

その一環として、来年度からはマス・コミュニケーション学専攻に「ジャーナリスト養成プログラム」を設置する。インターネットなどのさまざまな情報技術が急速に普及し、社会そのものも大きく変貌しつつある現在、新聞記者やテレビの報道人のみならず、ジャーナリストとしての基礎能力を備えた人材が幅広く求められるようになってきた。そのジャーナリストとしての基礎能力には、まず、独自の「切り口」からものごとをとらえる力と、とらえたことをきちんとして他者に伝える「表現力」からなる《文章力》がある。そして次に、情報源を探りだしアクセスできる「調査力」と、情報をうのみにせず自分なりに読み解くことのできる「分析力」からなる《取材力》。これらの能力を涵養することがこのプログラムの目的である。

こうした実践的な能力は、知識を蓄えていくだけで身につくものではない(それも重要ではあるが)、問題が与えられて答えを考えようというよりも、問題そのものを自ら見いだしていくことが必要になる。そのため、このプログラムでは「文章実習」「調査実習」「制作実習」などの実習科目を軸とした独自のカリキュラムを設定し、学生たちの試行錯誤のなかからジャーナリストとしての実践知を練り上げていくことを狙っている。そこでは学生自身の高い意欲と相互刺激が重要になるだろう。関大生のもつ可能性に大きく期待したい。

(社会学部教学主任 辻 大介)

総合情報学部 “人”と“社会”と“コンピューティング”

総合情報学部は、インターネット時代の幕開けを迎えようとしていた平成 6(1994)年に、全国にも類を見ないユニークな文理総合型の情報系学部として誕生した。その後、IT の急速な進歩と普及により、いまや社会のあらゆる分野において情報系リテラシーを備えた人材が必要とされる状況となっている。しかし、そこで求められるリテラシーとは、単に最新の IT 機器が操作できること、特定の IT について知識があるという狭い表層的なものではない。情報の生成・加工・配信にかかわる「コンピューティング」についての確かな技術的理解力、それらを利用する“人”と“社会”についての深い洞察力、さらには利用者のニーズとコンピューティングとの最適化を図る問題解決能力が求められている。

総合情報学部では、開設以来、「情報」をキーワードに理

系の枠を越えて広く横断的に学べる教育環境を提供し、人と社会とコンピューティングという幅広い視野から情報を扱うことのできる人材の育成をめざしてきた。特に、問題解決能力の養成という観点から、情報処理の実践的教育を重視し、文理にわたる多彩な実習カリキュラムを提供してきた。

同時に、絶えず進展と変貌を遂げる IT 社会の要請に応えるべく、教育カリキュラムの拡充・改革にも継続して取り組んできている。次年度に向けては、プログラミングやデジタルコンテンツの制作を中心に、実習科目の新設や実習内容の刷新を図り、関連する講義科目についても新設を含めた変更を加えている。これは、コンピューティングに関する技術の変化に対応するためのカリキュラム改訂である。また、教職課程については、これまでの「情報」に加えて、「数学」と「公民」の追加申請を行った。これにより、「情報」を専門とする教員だけでなく、「数学」+「情報」あるいは「公民」+「情報」というように、情報に強い教員層の拡大に貢献できるものと期待される。

(総合情報学部長 加藤 隆)

工学部

新しい工学の教育体制を確立

今世紀、資源の乏しいわが国は科学技術立国を唱えて経済基盤を確保し、国際社会に貢献しようとしているが、一方で若者の理系離れが進み、将来の技術者の育成が強く懸念されている。このような時代における大学の工学教育についての大きな課題は、自然科学、工学・技術の魅力をもどるようアピールし、育てるが、また進行する学力低下を防ぎつつ学習意欲をいかに高揚させるかであろう。

本学工学部では、システムマネジメント工学科の冬木正彦教授が開発し、文部科学省教育改革支援プログラムの現代 GP に採択された e-Learning システム「CEAS」を活用して教育効果を高めようとしている。また工学部では独自に外部評価を受けることを決め、平成 14 年度の研究編に続いて今年度は教育編を実施し、外部の有識者による学部総体と学科ごとの評価の結果を教育の改善に反映させる道を開いた。さらに平成 18~19 年度には工学研究科の改組・改革が予定・計画されているが、工学部においても飛躍を図るべくそれに連動させた改革を提案する予定である。

多くの若者が夢をもち、魅力を感じて入学を希望し、在学中にあっては満足感をもって意欲的に学習に取り組めるよう、そして巣立った卒業生が立派に 21 世紀型の技術社会に貢献できるよう、関大独自の新しい工学の教育体制を確立したいと考えている。

(工学部長 土戸 哲明)

Special issue

千里山 & 高槻 キャンパスミニ紀行



千里山
キャンパス

こんなところにも、サークル発見

体育館



千里山キャンパスには中央体育館と東体育館があり、その充実した設備を多くの関大生が利用している。学園祭で「オレンジレンジ」のライブ会場となった中央体育館には、剣道場や柔道場として使用されているフロアがあり、体育会各部が練習に励む姿が見られる。

また、簡単な講習を受けると利用できるトレーニングジムも完備。届け出さえすれば関大生なら誰でも利用可能である。シャワー室もあり、汗をかいても大丈夫。また、エントランスがガラス張りのため、体育館前では多くのダンスサークルが、連日遅くまで練習をしているのが目に入る。総合関開戦との前には、チアリーダーや応援団の練習風景も見られる。そのため、体育館前の活気は放課後も絶えることがない。

体を動かして、小腹がすいても大丈夫。おばちゃんたちが元気よく応対してくれる生協のコンビニがすぐそばにあり、品ぞろえの豊富さからも、体育会ご利用となっている。

ホッと一息。憩いの場

尚文館前芝生

尚文館の前にある芝生は、関大名所の1つである。昼休みは必ずと言っていいほど学生たちでいっぱいになる。友達と一緒に、お弁当を食べるもよし、わいわい談笑するもよし、もちろん1人で試してみるのもいいだろう。滝の流れる音に耳を傾け、移りゆく季節を感じ、ゆったりとした自然空間に癒やされるはずである。

さらに、多くの人懐っこい小動物や鳥にも出会う。この美しい憩いの空間は、社会学部の鳥越俊太郎教授が音楽番組で、関大卒業生で歌手の矢井田瞳さんにインタビューをした場所でもある。また、学園祭の時期には舞台上早変わり、軽音サークルのライブなどが行われる。時に癒やし、時には音楽を愛する人びとの発表の場となるこの芝生。天気の良い日に、ぼかぼか日なたぼっこしてみたいかが？



にぎやか便利な関大前通り

関大前通り

駅から大学までの通称関大前通り。初めて来る人は、きっと圧倒されるだろう。多くの店が建ち並び、関大ライフを楽しく彩っている。飲食店から薬局、居酒屋、コンビニまで必要なものは何でもそろそろ。学生にはうれしい古本屋もある。朝の通学、授業の終わり、昼休みに、たくさんの関大生でにぎやかになるが、警備員さんのしっかりした誘導で安全対策もバッチリだ。授業が休みになって時間があいた、ちょっと友達と遊びたい、サークルや部活の打ち上げをするなどの要求を叶えてくれる、学生のためのお店が多数そろっている。もちろん値段も学生価格。

また、多くのサークルのポスターやピラを張ってくれて宣伝をさせてくれるお店もある。入学したら、新しい友達と一緒に、他にはない関大前通りを探索し、お気に入りのお店を発見してみたいかが？

読書に、自習に、静かな空間

総合図書館

総合図書館には、なんと約190万冊もの蔵書がある。1階には辞書類や新聞、雑誌など、2階には学習用資料のほかに、文庫本などがそろっている。テスト前の調べ物も趣味の本もしっかり見つかる。各階に、大机や個人机、さらに至るところに椅子があり、気になる本があればその場で座ってゆっくり読むことができる。3階は、研究や勉強がしっかりできる環境となっており、話し合いのスペースも確保されている。

また、必要な本は「KOALA」というインターネット上の検索システムで一発検索することが可能だ。リクエストや予約制度もある。こんなにたくさんの蔵書を誇る図書館はめったにないだろう。中を歩いているだけでも時間を忘れてしまうような場所である。ここで、あなたの人生の指針となるような1冊を見つけてみてはどうだろうか。



高槻 キャンパス



作品展示

あなたの作品飾ってください

千里山キャンパスとは、ひと味違った高槻キャンパス。まだ新しく、広びろとしたA棟、C棟、F棟の1階ロビーには、学生作品や研究作品を飾るスペースがいくつか設けられている。風景画の凹凸を逆にした3D・CG作品は、「立体錯視」が利用され、体を揺らして作品を見ると、風景画自体が揺れているように感じる。実習の成果を多くの人々に見てもらおう絶好の場所なのである。



また、外にはアート作品があり、キャンパス全体が、まるで美術館のようである。自然に囲まれ、見晴らしも良く、静かで、勉強するにはすばらしい環境が整っている。パソコンや最新機器も多数そろっており、自分の描く作品を思うまま表現することが可能である。あなたのあふれ出す創造力を、ここでなら、きっと形にすることができるはずである。



馬場 馬で闊歩カッポ!

千里山キャンパスにあった馬場が高槻キャンパスに移されたのは昨年11月25日のことである。現在、馬術部には、1～3年次生の20人の部員がいる。そのほとんどが千里山キャンパスで学ぶ学生だという。毎回高槻まで通っているのである。

馬は全部で18頭。その馬の世話は、すべて部員が行う。蹴(ひづめ)を洗ったり、エサをやったりと大変そうだが、馬と触れ合うことがなんとも楽しそうであった。馬術未経験でも大丈夫。馬術部に入る人はほとんどが初心者なので気兼ねなく入れるはずだ。水・土・日曜日にはコーチが教えに来てくれ、平日は上位年次生が教えてくれる。



練習を重ねていくうちに、自分の技を披露したくなるだろう。そんな時には大会に出てみるのもいい。初心者向けの大会から公認の大会まであるので、自分の技量に合った大会に出場してみよう。なかなか触れ合う機会のない馬と仲良くなれる馬場へ行って、馬たちと心癒やされてはいかがだろうか。

教養教育改革テーマに

第 7 回 FDFフォーラム開催

各大学が新しい教育体制のあり方を模索するなか、昨年十一月一日、本学でも教養教育改革をメインテーマに、全学共通教育推進機構主催の第七回 FDFフォーラムが開催された。出席者は教育職員・事務職員あわせて約二百人、会場はほぼ満席であった。



第一部は、昨年十月の諮問(「教養教育を主とした学部教育改革について」)を受けて、河田学長のあいさつの中で、品川学長補佐から同諮問に関する趣旨説明があり、続いて活発な質疑応答が交わされた。今回の諮問が将来の教養教育を方向づける内容のものであるだけに、出席者の関心の高さが窺われた。時間的制約から議論を尽くせない部分もあったが、これだけの教職員が一堂に集って議論できたことの意味は大きい。これから定期的にこうした場を設け、大学教育の現状や今後のあり方をめぐって教職員がともに語り合ったり、認識を共有する機会をもつことの必要性をあらためて

感じた。第一部は導入教育に関するパネルディスカッション。経済学部中澤信彦助教と文学部藤田高夫助教から両学部が行っている新入生ゼミの具体的な紹介が

あり、続いて五人の学生がその教育効果について率直な意見を述べた。フォーラムに学生が加わるのはこれにこの場を借りてお礼申し上げたい。今後も教員(全学共通教育推進機構長 柏木 治)

盲導犬に理解と愛情

フィールドワーク

盲導犬総合訓練センター訪問



い。今後、先導が支援してくれるように、自分たちが後輩を支援していくと感想を述べた。三年次生 北野 光

たのではないかと、この教育効果について率直な意見を述べた。フォーラムに学生が加わるのはこれにこの場を借りてお礼申し上げたい。今後も教員(全学共通教育推進機構長 柏木 治)



第 6 回 キャンパスベンチャーグランプリ OSAKA

総 6 人が佳作を受賞

関西の学生から、二十一人のアイデアやビジネスプランを集めた「第六回キャンパスベンチャーグランプリ OSAKA」において、本学総合情報学部中成典研究室から六人が入賞した。四年次生の遠藤篤彦さん、三年次生の石田聡さん、許会慶さん、清水晴香さん、細島啓史さんと私の六人が、情報通信部門で、位置情報や嗜好情報を利用したビジネスプランを応募した。結果、佳作を受賞した。このビジネスプランは、利用者に必要でない情報が配信されてしまうという既存の配信サービスの問題点を解決するため、広告の配信を受ける利用者の位置情報や嗜好情報などから必要な情報のみを広告として配信するサービスを提供する「シネプラン」である。本受賞プランの受賞者は、今回受賞したビジネスプランは、チームメンバーが互いに協力し合い、研究

室の先輩から支援を受けた。先導が支援してくれるように、自分たちが後輩を支援していくと感想を述べた。三年次生 北野 光

同、センターの講義に間に合えない陽気の中、京都府亀岡市の杉原里にたつたむすびセンターに到着した。

昨年十一月十五日、冬至間近とは思えない陽気の中、京都府亀岡市の杉原里にたつたむすびセンターに到着した。

同じ、センターの講義に間に合えない陽気の中、京都府亀岡市の杉原里にたつたむすびセンターに到着した。

たのではないかと、この教育効果について率直な意見を述べた。フォーラムに学生が加わるのはこれにこの場を借りてお礼申し上げたい。今後も教員(全学共通教育推進機構長 柏木 治)

関西文化を売り込む

頑張り、受験生諸君、関西大学東京センターは東京昨年12月、有楽町で「飛鳥フオーラム」を毎日新聞社と共催した。高校生や教諭、関係者など80人が参加。毎日新聞社芸部・山成孝治記者、本学・網干善教名誉教授から、高松塚、キトラ両古墳の壁画の劣化問題などについて、大変興味深い話が交わされた。関大であれば、高松塚の発掘が、当時の網干教授と本学大学院生諸君らの手によってなされた世紀の大発見だったという話を熟知している。ところが、今回のフォーラム参加者の中には高松塚を知らない、知らなくても名前程度という人がいたのに驚かされた。歴史に残る出来事でも繰り返してアピールしなければ、忘れ去られる時代なのだ。ただ、開会後、何人かから「とてもよかった。これからも続けて欲しい」との感想を聞いた。一般的に東京人は、東京以外の諸々を、一段下に見る傾向がある。だが、東京にはないものや文化的な話題には、素直な興味を示すようだ。関西文化の売り込みも欠かせない。受験生諸君の健闘を祈る。(東京センター長 石山 博康)



「英語講座では、多くの企業で昇進要件とされる TOEIC® と留学に必須の TOEFL® の各テスト対策コースを、レベルに応じた点数別クラスを設けています。実力にあったクラスを受講して、真の英語力を身に付けてください。レベル別目的に応じた情報処理講座」

「公務員講座」は、入門講座から順次ステップアップできる多彩なコースを開講しています。特に将来、国家公務員一種を志望する人には、一年次から「入門講座」を受講することをオススメします。

「税法」は、税理士試験の必須科目である簿記論と財務理論の二つを設け、早期合格をめざします。また、簿記検定講座ではレベルに応じた受講できるよび二級対策コースを講じています。

「法律家養成講座」では、将来、司法試験や法科大学院(ロースクール)にチャレンジする人のために、一年次の段階で法律の基礎知識の強化をめざす「基礎コース」をはじめ、基本的な法律知識が実践的な答案作成の練習まで段階的にレベルアップするコースを用意しています。また、従来から要望の多かった司法書士をめざすコ



中国近世戯曲小説全集(平成十六年十二月一日、関西大学出版部、定価四十三百円)出版。定価三十九百七十五円(税込)

お問い合わせ リードセンター事務局 06 6368 0721

マスコット 高い合格率を誇る 資格試験対策講座

毎年高い合格率を記録している「宅地建物取引主任者」「総合資格試験」などの資格試験対策講座は、新設、シャナリスト、「出版・広告」放送の業界別クラスにより、将来の進路に向けた準備を支援しています。

「気」の構造 実践と思想の対話 (平成十七年一月十日、関西大学出版部、定価三千六百七十五円(税込))

関大通信 第323号

平成17年(2005年)2月1日
大阪府吹田市山手町3 3 35
http://www.kansai-u.ac.jp/
次号は3月19日発行の予定です



Tシャツ (1,890円)
漢字のロゴが新鮮です。

マグカップ (680円)



グッズが彩る 関大ライフ



トートバッグ (1,680円)

「大学グッズ」といえば、受験生のみなさんはオープンキャンパスの記念品を連想するのではないのでしょうか。関西大学には個性的で気品あふれるK.U.オリジナルグッズがたくさんそろっています。これらは勉強やスポーツなどのキャンパスライフに色を添えるとともに、関大生になったことをいっそう実感させてくれることでしょう。試験時間の合間にこの紙面を眺めながら、春からの新生活に思いを巡らせてみてください。



マスコットTシャツ (1,680円)



エンブレム (4,200円)

スポーツタオル (紫紺735円・白525円・紺400円)



キャップ (1,995円)

20歳になったら



ZIPANG 関大ボトル (879円)

関大の校章がデザインされた焼酎。大学周辺の酒店、コンビニでどうぞ。



瓦せんべい (18枚入り630円・27枚入り920円)
老舗の逸品に校章が焼き付けられています。



学歌オルゴール (6,300円)

応援グッズも充実



絵はがき (ともに8枚入り365円)
四季編と建物編があります。



チアスティック

バレーボールなどの試合でもよく見かける風船のスティックで、両手に1本ずつ持ち、拍手をするようにたたきます。体育会チームマスコット「Kaisers」がポイントです。非売品。

いよいよ来年
創立
120周年
記念
グッズ

いよいよ来年に迫った創立120周年の記念グッズ。大学の「知」と「120」を組み合わせさせたシンボルマークの入った限定版です。

ペントレー (3,570円)



タイピン (3,360円)



Vメガホン

毎年6月に開催される関西学院大学とのスポーツの対抗戦「総合関関戦」などで観客に配られる応援グッズです。これを使って、大声で叫び、打ち鳴らせば、元気倍増、勝利確実。白とスクールカラー紫紺のツートンカラーでスッキリ。非売品。



印のグッズは関西大学生活協同組合購買部やインターネット (<http://www.kandai.ne.jp/>)で購入することができます。なお、表示価格は税込みです。

前年の夏に形成された桜の花芽は、秋から冬にかけて低温にさらされることで徐々に眠りからさめ開花の準備を始める。春に咲く桜の花芽にとって今が大切な時期である。卒業を控えた四年次生は大学生活の集大成の時期、就職活動を目前にした三年次生は自らの将来を見つめなおす大事な時期でもある。受験生のみなさんもそれぞれの春を控えて総仕上げとしての入試に取り組んでいることだろう。桜が満開のことを願っている。今月号は学部教育の近未来について特集している。大学四年間で高度な専門知識と教養人としての良識をバランスよく身につけさせるために、どのような教育をめざそうとしているのか、関西大学における取り組みの一端を知っていただければ幸いである。(堀 雅洋)



編集後記

浜野 潔(はまの きのよし)教授
専攻は日本経済史
特に、幕末・維新期の京都をフィールドに宗門改帳^①を利用して、都市の歴史・人口学的研究に取り組み。また、学内においては、関西大学史編集委員会委員を務めている。



今月の表紙